

### お知らせ

○「植物遷移調査」；大賀先生の指導により千年の森植生遷移調査を12月から開始します。場所は巨木林植生保護柵内、調査準備と調査開始のため12月21日（日）を臨時活動日とします。参加可能な方は上記アドレスに連絡ください。9時30分第二駐車場集合。筆記具持参。

○次回定例活動日；09年1月18日（日）9時30分第二駐車場集合。シカ棲息調査、11月伐採木の造材作業、チェーンソー持参参加者は、保険手続きのため上記事務局アドレスに1月5日までに連絡ください。

○会員の入退会；会の活動に熱心に貢献されてきた長村元副代表が地元の活動に専心するため11月30日退会。今後のご活躍を祈念します。3頁「鴨川にも千年の森を」をご覧ください。11月30日体験参加された君津東日笠の福田美代子さんが即日入会。よろしくお祈りします。2頁「豊英島の活動に参加して」をご覧ください。

○里山新聞12月号；メールの方はちば里山センターHPをご覧ください。郵送会員には本誌に同封します。

### 活動の記録

#### 11月29日（土）「チェーンソー安全研修」ちば里山センター主催、千年の森・県民の森協力

ちば里山センター平野次長を迎え県森林組合木村講師指導による豊英島3回目の安全講習会、受講者は全くの初心者からベテランまでの10名、内千年の森会員7名。まず研修テキストによる講義、林業労働災害の実態から始まり服装と保護具、チェーンソー作業の基本、正しい受け口・追い口切り、合図と指差し呼称の励行、掛り木処理など実践的各論、木村先生の迫力ある話に聴き入る。続いてチェーンソーを解体し、点検・手入れ・目立ての実技指導。昼食後は広葉樹の伐木実習、初心者には掛り木リスク少なそうなコナラを選び



正確な方向決めと決めた方向への伐倒。目立て不良チェーンソー使用の実演もあり、目立ての重要性を実感。熟練度に応じてステップアップし、最後にリスクの大きい常緑大径木（スダジイ）の熟練者による伐採と掛り木処理の実演。全員で掛り木処理を手伝いその難しさを実感、非常に有益な研修でした。木村先生、平野次長有難うございました。豊英島での安全研修は昨年・一昨年とも豪雨に遭いましたが、今年は幸い天候に恵まれ研修に集中できました。午後一時にわか雨が通り過ぎ、上空に美しい虹を見ました。



迫力ある講義に聴き入る



点検手入れの実習



伐採面を見て伐木講評

○夜は鎌田屋に宿泊し忘年会；まず大賀先生による「植物遷移の極相における動的安定」レポートの勉強会。夕食は鎌田屋さん大サービスのご馳走を肴に、焼酎を心ゆくまで戴き、お話しは済みました。夕食後も焼酎片手に反省会が夜更けまで続きました。久我夫妻のお陰で厚みのある見事なシイタケを研修会の昼食や、鎌田屋のよせ鍋でも存分に味わい、研修生や先生方にも喜んでお持ち帰り頂きました。

11月30日(日) 晴 参加会員10名

紅葉の豊英島で秋晴れの好天候と森の幸に恵まれ、楽しい一日を過ごしました。この日初参加の福田さんは、豊英島がすっかり気に入って即日入会されました。



秋晴れの豊英島で

○「植物遷移調査」実地打合せ；調査予定の巨木林植生保護柵内に入り打ち合わせ、調査区の蔓以外の全樹木を対象とする、面積は第一回調査試行の所要時間をみて決めることなど相談した。

○リースづくり；恒例のリース作りに今年は、松本、石井、福田の3人が参加。台に使うツルや木の実はそれぞれ持ち寄り、現地調達のヒイラギ、ムラサキシキブなどで、3人3様の素敵なリースが出来上がった。長谷川さんから沢山の珍しい木の実、新井さんからはおいしいシナモンブレッドの差し入れを頂いた。



三人三様の素敵なリース

○きのこ収穫；マダケ林東側07年植菌ホダ木に見事なシイタケ、前夜サルに食べられたが、食べ残しも充分な量。巨木林の07年植菌ナメコも大群生、開き過ぎてはいるが「すごい！」「大豊作！」と感嘆しながら収穫。昼はシイタケをお腹いっぱいいただき、帰りは全員シイタケのほかナメコ、クリタケなどのお土産いっぱい。

○ヒノキ林の間伐準備、仮選木；島対岸ヒノキ林の間伐に関して、選木を試行した。まず10m×10m(100㎡)の方形区を設定、その内部で選木した。枯損木込みでは19本中8本(42%)、枯損木を覗いて16本中5本(31%)とした。この比率を参考に全域について仮選木、52本(枯損木含む)選木したところで中絶。全体の面積は0.2ha程度とすると、全体では100~160本と想定されるが、林内には下層にヒサカキ、アオキ等が繁茂していて、見通しが悪く、また今後の作業に支障を来すと思われるので、選木の前にこれらを除くことが望ましいと判断した。したがって、全体の選木の前に除伐が必要な下層木、枯損木、小径木の伐採を行う方向で今後所有者と相談したい。なお間伐対象のうち太いものは胸高直径で30cm近いものがあり、これらを含めて100本以上見込まれ、相当の作業量が想定される。作業開始前に実行体制と間伐材の処理方法などの十分な検討が必要。

### 豊英島の活動に参加して

(君津市 女性)

日光から暖かな気候に魅せられて君津に移って二年、森の会があるから行ってみたい？と誘われて即参加。木漏れ日の中、サクサク歩く、実に気持ちよい。又沢山の椎茸、なめこの収穫の機会にも立ち会えてラッキー、大満足でした。「森の植物を守る」と実に地味な仕事ですが、会員の皆様が一生懸命で、暖かく迎え入れて下さった事が本当に嬉しかったです。これからもよろしくお願い致します。

(3頁に続く)

## 鴨川にも「千年の森」を

鴨川市 男性（11月30日退会）

この度、千年の森を退会することになりました鴨川の です。私の勝手に申し上げれば退会ではなく卒業と考えておりますが、これはもう学ぶことがないという意味ではありません。千年の森とそこに集う皆さんからは実に沢山のことを学びましたし、今後も学びきれものではないと思っております。

では何故そのような選択をしたかと申しますと、かれこれ十年前に移住した鴨川の山村は森林の荒廃は勿論のこと、過疎化・高齢化・獣害問題などコミュニティの存立にまで危機的な状況が進行しており、今後は地元の活動に専念したいというのが大きな理由です。そしてそのような決意をしたのも千年の森で学んだことが多いに関係しています。その経験を糧として鴨川の里と山を守るために微力ながら働くことができるのではないかと考えております。

さらに付け加えれば、自分が住んでいる里山の自然や人々の営みの“かけがえ”のなさに気付いたのも一因です。というのも、今年の春に一人豪州を旅して世界屈指のエコ・ビレッジを見学し、森林都市とでも形容できそうな素晴らしい環境にまず目を見張ったのですが、その手本となっているのが日本の里山の知恵だったのです。さらに驚いたのは、そこはほんの20年前まで牛の過放牧によって砂漠化した丘陵だったということで、ビレッジの住民はまず一本一本樹を植えて自然林と見まがうばかりの豊かな森を復元していったのです。この話を聞いて、荒れているとはいえ鴨川の里山の素晴らしさ・かけがえのなさに思い至った次第です。

今後は鴨川にも“千年の森”をつくるべく力をつくしたいと考えております。これまで大変お世話になった皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。そして、改めて今後ともよろしく願いいたします。

### 「千年の森」で2年目のチェーンソー研修

里山作りは自然が綺麗になっていく変化に

関われるので大好きです

昨年からチェーンソーを使う事を

改めて学ぶ最初の研修が、

千年の森さんから始まりました

どう安全に使うのか

どう倒木するのか

どう手入れをするのか

我流から習う事の大切さ

そして一年竹林の間伐を続け

今 丸太小屋作りを習いに行き、

新たな使い方を習っています

ホームページは3つあります ご参考に

里山作り 拓樹

里山つくり バラと四駆のお話

週末 DIY

<http://blogs.yahoo.co.jp/satoyamatukuri>

<http://blogs.yahoo.co.jp/erkiroku>

<http://www.c-player.com/ac44635/message>

里山作り「拓樹」代表 岡本 透

全ては安全

自分を守る事

他人を傷つけないこと

自然を愛してさせて頂く心

\*\*\*

放置林の悲しさを痛感します

綺麗にしていくと不思議ですね

自然が活着ているかのご様にご褒美をくれます

ありがとう そう言っている感じです

\*\*\*

昨年に続き参加させて頂き

ありがとうございました。